



# 田原っ子

NO.7

鴨川市立田原小学校  
文責 前田 桂子

## 「全校読み聞かせ会」のご案内



6月14日(水)の昼休みに、「全校読み聞かせ会」を予定しています。

昨年度のPTAだよりでも紹介されていましたが、本校では読書ボランティア「puke」の皆さんの協力を得て、「全校読み聞かせ会」を年に3回実施しています。各教室に「puke」の方々に来てくださり、「どんなお話をしてくれるのかな。」と、わくわくする時間です。せっかくの機会ですので保護者の皆様も聞きにいらっしやいませんか?!

「全校読み聞かせ会」の参観を希望する方は、当日、職員玄関より入り、お子様の教室へお入りください。お子様の学年ではない教室での参観も可能です。ぜひ、子どもたちと一緒に本の世界を楽しみましょう!

※読み聞かせは、12:50~13:15です。

※職員玄関で、受付(記名)をしてください。

※スリッパ等の履き物を持参してください。



昨年度の「全校読み聞かせ会」の様子

## すべてが栄養

小説家 樋口一葉は、5000円札の肖像としても有名ですね。日本で紙幣の肖像に女性が採用されたのは樋口一葉が初めてなのだそうです。

樋口一葉は、明治5年に東京で生まれました。17才(※18才という説もあります。)で父親を亡くし、生活のために小説を書くことを決心し、小説の書き方を教わりに行ったそうです。書いた小説を雑誌に載せてもらうことができた時、「小説は人間のまごころを書くことだ」ということに気付き、その後しばらく小説が書けなくなってしまいました。駄菓子屋の手伝いや手紙の代筆などありとあらゆる仕事を経験しましたが、貧乏が続き、何もかも投げ出したくなったこともあったということです。このような辛く苦しい体験をもとにして書いた小説が「にごりえ」でした。これが大好評!大作家の森鴎外は、「人間を書いていてすばらしい」と、絶賛したそうです。その後にした「たけくらべ」も大好評でした。

瀬戸内寂聴は、「作家は、貧乏も失敗もいやな経験も皆財産。これらすべてが書く時の栄養である。」と、述べたと言われています。「にごりえ」も「たけくらべ」も、一葉が経験のすべてを栄養として生み出した作品だったのでしょ。

私たちの毎日にも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。いつも自分の好きなことや楽しいことばかりではなく、いやなことも苦手なこともありますよね。辛くて逃げ出したい時だってあるでしょう。これは、子どもにも大人にも言えることですね。でも、今は気付かないけれど、いつかそのような体験が自分の栄養になるのかもしれない。そう考えると、ちょっとがんばれそうな気持ちになれるような気がしませんか!

## クラス紹介その4 3年生の巻



☆学級目標 何でもチャレンジ 元気いっぱい3年生

☆担任の 先生から見た3年生のよいところベスト3  
第1位 みんな優しい!!!  
第2位 明るく元気!!  
第3位 どんなことにもチャレンジできる!



☆3年生でがんばりたいこと  
授業(3) とびばこ(2)  
リフティング10回 体育(2)  
竹馬で50000歩 授業参観(2)  
いろいろなことを学ぶこと  
理科 わり算



☆学校で楽しい時間ベスト3  
第1位 休み時間にあそぶこと  
第2位 体育  
第3位 算数

